

高校地理プリント (過去問類似)

自然環境 No.3

名前

得点

/10

問1 アメリカ合衆国南部を流れるミシシッピ川の河口部に見られる、波や潮汐による侵食作用が弱く、潮の流れが遅い浅海において、河川が運搬してきた大量の土砂が堆積して形成された、分岐した流路に沿って細長く土砂が突き出た特徴的な三角州を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. 鳥趾状三角州 2. 弓状三角州 3. 尖状三角州 4. 円弧状三角州

問2 中央アジア南東部に位置し、ヒンドークシュ山脈や天山山脈などの大山脈が合流する結節点となっており、平均標高が5,000m近くに達することから「世界の屋根」とも称される高原の名称を答えよ。 (2018年 全国公立入試 類似)

1. モンゴル高原 2. アルタイ山脈 3. パミール高原 4. チベット高原

問3 湿潤地域に源流を持ち、乾燥地域を貫流して海や湖に注ぐ河川を何と呼ぶか。 (2014年 全国公立入試 類似)

1. 外来河川 2. 国際河川 3. 内陸河川 4. 先行河川

問4 広島市は、太田川の河口部に発達した地形の上に都市が形成されている。この地形は、河川が運搬してきた砂泥が河口付近に堆積してできた平坦地であり、複数の分流に挟まれた特徴的な形状を持つ。この地形を何というか。 (2008年 全国公立入試 類似)

1. 三角州 2. 扇状地 3. 旧河道 4. 天井川

問5 チリの首都サンティアゴは、中緯度の温帯地域に位置し、夏季に乾燥して冬季に降水が見られる気候区に属している。この気候区の名称を答えよ。 (2022年 全国公立入試 類似)

1. 熱帯草原気候 2. 地中海性気候 3. 熱帯雨林気候 4. 温暖湿潤気候

問6 南半球の緯度30度から40度付近の大陸西岸では、7月を中心とする時期に偏西風や前線帯が北上して影響を及ぼすため、冷涼で湿潤な気候となる。このような、夏季に乾燥し、冬季に湿潤となる特徴を持つ気候区の名称を何というか。 (2020年 全国公立入試 類似)

1. 熱帯雨林気候 2. 温暖湿潤気候 3. 地中海性気候 4. 西岸海洋性気候

問7 アラビアプレートとアフリカプレートの境界付近に位置し、プレートの動きに伴う地殻変動によって形成された陥没地に存在する。湖面の標高が海面下約400メートル以下と、陸地における世界最低標高地点としても知られ、極めて高い塩分濃度を持つことで有名な西アジアの湖の名称を答えよ。 (2018年 全国公立入試 類似)

1. 中海 2. 太湖 3. 青海 4. 死海

問8 日本の夏において、東北地方の太平洋側に冷涼な北東風 (やませ) をもたらし、冷害を引き起こす要因となる、初夏から夏にかけて日本の北東の海域で発達する高気圧を何というか。 (2025年 全国公立入試 類似)

1. オホーツク海高気圧 2. 小笠原高気圧 3. シベリア高気圧 4. 太平洋高気圧

問9 アフリカ大陸の東部や南部は、北部や西部に比べて平均標高が高い。特に東部には、プレートの広がる境界の活動に伴う火山活動や隆起によって形成された、標高2000mから3000mに達する広大な高地が存在する。コーヒーの原産地としても知られ、青ナイル川の水源ともなっているこの高原の名称を答えよ。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. エチオピア高原 2. チベスティ高原 3. アハガル高原 4. ルウェンゾリ山地

問10 佐賀平野の南部など、潮位差の大きい有明海沿岸では、古くから浅い海や入り江を堤防で仕切り、内部の水を排水して陸地化する事業が行われてきた。このようにして造成された、標高が極めて低く、水害のリスクも高い平坦な土地を何と呼ぶか。 (2011年 全国公立入試 類似)

1. 開拓地 2. 埋立地 3. 造成地 4. 干拓地

答え合わせ・解説 No.3

問1	答え 1 鳥趾状三角州	ミシシッピ川河口に形成されている鳥趾状三角州は、波や潮汐による侵食作用（潮の流れ）が遅く弱い場所に、河川が運ぶ大量の土砂が堆積して発達する。これに対し、波の作用が強い場所では円弧状三角州や尖子状三角州が形成される。
問2	答え 3 パミール高原	中央アジア東部に位置するこの高原は、ヒンドークシュ山脈、カラコルム山脈、天山山脈、クンルン山脈などの巨大な山脈が集まる結節点であり、平均標高が極めて高いため「世界の屋根」と称される。アラビア半島やイラン高原、メソポタミア低地などと比較して、著しく標高が高いことが特徴である。
問3	答え 1 外来河川	湿潤な地域に水源を持ち、乾燥した砂漠地帯などを通り抜けて流れる河川を外来河川と呼ぶ。アフリカのナイル川や、西アジアのティグリス川・ユーフラテス川、中央アジアのアムダリア川・シルダリア川などがその代表例である。これらは乾燥地域における貴重な水資源として、古くから灌漑農業や文明の発達を支えてきた。
問4	答え 1 三角州	太田川の河口部には、上流から運ばれた土砂が堆積してできた平坦地である三角州（デルタ）が形成されており、広島都市基盤となっている。扇状地は河川が山地から平野に出る谷口に形成される半円錐状の地形で、台地は周囲より一段高い平坦地、河岸段丘は河川の侵食作用によって形成された階段状の地形であり、いずれも河口付近に形成される分流に囲まれた堆積地形とは異なる。
問5	答え 2 地中海性気候	チリの首都サンティアゴは南緯33度付近に位置し、夏季には亜熱帯高圧帯（中緯度高圧帯）の影響下に入って乾燥し、冬季には偏西風帯の影響で雨が降る。このような夏季乾燥・冬季湿潤の特徴を持つ気候は地中海性気候（Cs）と呼ばれる。
問6	答え 3 地中海性気候	南緯30～40度付近の大陸西岸では、南半球の冬季にあたる7月ごろに、中緯度高圧帯が北上（赤道側へ移動）し、代わって偏西風帯や極前線がこの緯帯に到達するため、雨が降りやすくなる。一方で、夏季（1月ごろ）は中緯度高圧帯に覆われるため、温暖で著しく乾燥する。この気候はケッペンの気候区分において地中海性気候（Cs）に分類される。
問7	答え 4 死海	プレートの広がる境界（トランスフォーム断層を伴う境界）に関連する地殻変動によって形成された地溝帯に位置する。流入するヨルダン川などの河川水が、乾燥気候下で激しく蒸発するため、塩分が濃縮されて極めて高い塩分濃度（約30%）の塩湖となっている。湖面標高は海面下約400m以下であり、地球の陸地上で最も低い場所である。氷河の侵食による氷食谷や、沿岸流による砂州などの作用ではなく、断層運動（地殻変動）によって形成された構造湖である。
問8	答え 1 オホーツク海高気圧	東北地方の太平洋側に冷害をもたらす「やませ」は、日本の北東に位置するオホーツク海上で発達する高気圧から吹き出す。この高気圧は冷涼で湿潤な気団（オホーツク海気団）を形成し、これが日本付近に張り出すことで、北東風が吹き込み気温が低下する。
問9	答え 1 エチオピア高原	アフリカ大陸東部には、プレートの広がる境界である東アフリカ地溝帯が走っており、これに伴う隆起や火山活動によって標高の高い地域が形成された。その代表例がエチオピア高原であり、標高2000m以上の高地が広がり、高地気候を利用したコーヒー栽培が盛んである。また、この高原は青ナイル川の源流部にあたる。
問10	答え 4 干拓地	有明海は干満の差が非常に大きく、遠浅の泥質干潟が発達しているため、古くから堤防を築いて内部の水を抜くことで陸地を広げる事業が行われてきた。こうしてできた土地は周囲の海面よりも標高が低い低平地となることが多く、排水や高潮への対策が必要となる。土砂を積み上げて水面を覆う埋立地とは、水を排水して陸地化するというプロセスにおいて区別される。